



「待て、待て、待て。」

ノリオさんは目を白黒させて言いました。

「どういう事だい、これは。お前たちは何で喋れるんだ？」

「それはね。」

調理台の上でクルクルと踊っていたミルクパンが答えました。

「僕たちずっとノリオさんにお礼が言いたかったんだ。そうしたら天窓からミノサザイが教えてくれたのさ。」真夜中の3時33分3秒、満月が天窓の真上にかかるとき、特別な魔法がかかるだろう”って。今夜がその時さ。そしてらどうだい！喋れるし動けるんだ！やっとお礼が言えるよ。毎日毎日、ピカピカにしてくれてありがとう。僕たちこれからもずっと頑張るよ！」

調理道具たちは誇らしげに、月明かりをキラキラ反射させました。

「そうだったのか。お前たち、みんなみんな大切な道具達だ。ありがとう。」

その時ふとノリオさんは気が付きました。

楽しい調理道具達のおしゃべりの合間から、悲しげなすすり泣きが聞こえるのです。

その泣き声は小さいけれど、ずいぶん近くから聞こえるような気がします。ノリオさんは辺りをキョロキョロ見回しました。でも泣いている器具は一つもありません。

誰だろう？こんなに悲しそうに泣いているのは？

泣き声はいっそう悲しげに、段々大きくなっていきます。とてもとても近く、ノリオさんのすぐ側で泣いているようです。

「あっ！」

ノリオさんは気が付きました。泣いていたのはノリオさんの歯でした。

ノリオさんが口の中をのぞき込むと、果たしてそこには、ノリオさんの歯達がオイオイ泣いているではありませんか。

「ボク達は毎日磨いてもらってないよう！」

「ボク達だって毎日お肉を切ったり野菜を砕いたりしているのに・・・」

「いつも汚いまま放って置かれるんだ・・・」

ノリオさんはハッとしました。

そっだ。歯は、食事を噛み砕いてくれる大切な道具の一つなんだ。お鍋やお皿は使ったら毎日洗ってきれいにするのに、私はなぜ歯を綺麗にしようと思わなかったのだろう・・・。

よく見ると歯達は、ところどころ黒ずんだり茶色っぽくなったり、黄色い塊がこびりついていたりしていました。しかもなんだか嫌な臭いまでします。

「ごめんよ、ごめんよ、君たちも私の大事な道具だということを忘れていたよ。これからは毎日しっかり歯磨きするから・・・」

ノリオさんが言いかけたその時、歯の間から何か黒くて小さなものが次々と湧き出てきました。そして口々に

「やめる。やめるやめる。」

「歯を磨くなんて、とんでもない！」

「そんなことしないでくれよ。」

「やめる」「やめるー」

と騒ぐではありませんか。

「何だ、お前たちは！？」

「オイラ達はもうずっと前からここに住んでいるんだ。ここにはクッキー、そこにはチョコレート。食べるもの沢山。住み心地は満点さ。このままでいいんだよ。掃除なんてやめてくれ。」

黒い生き物はあとからあとから湧いてきます。ノリオさんはゾッとしました。

「お前は・・・！虫歯菌か！？」

叫んでノリオさんはベッドから転げ落ちました。厨房の天窓には朝日が降り注ぎ、寝室にも光が差し込んでいます。

「夢・・・？」

ノリオさんは少しの間ぼんやり光を眺めていましたが、突然我に返ったように洗面所に駆け込み、猛然と歯を磨き始めました。

「痛っ・・・!」

口の中に何箇所も、ブラシが当たると痛いところがあります。ノリオさんは慌てて店の入口に「本日休業」の札をかけると近所の歯科医院に駆け込みました。

「あく、ひどいねえ。毎日ろくに歯磨きしてないでしょ!」

歯医者さんは怒りながらノリオさんの歯を治療していきました。そして

「はい、新しい歯ブラシと、歯間ブラシね。フロスも渡しますよ。歯の間を掃除するのも大事ですよ。一生付き合っていく道具なんだから、大切にね。」

そう言って正しいブラッシングを教えてくださいました。

その日の夜、ノリオさんは歯ブラシと歯間ブラシで、丁寧に歯を磨きました。

「毎日頑張ってくれているのに今までごめん。これからはきちんとお手入れするからね。」

そう言ってフロスで一本一本の歯の間を丁寧に磨きました。歯磨きが終わると口の中はスッキリ!笑顔もなんだかいつもよりかっこよく見える気がしました。

「はい、パエリア2人前、お待ち!」

今日もノリオさんは厨房で腕をふるいます。お客さんは今日もいっぱい。調理道具たちも大活躍です。

そして今夜もノリオさんは調理道具のお手入れをします。

いつもと同じ、一日のおわり。

でも以前とは違うことが一つだけ。

ベッドに入るその前に、ノリオさんは歯ブラシと歯間ブラシとフロスを持って、鏡の前に立つのです。

「さあ、今日もピカピカにするぞ!」

大きく開けたノリオさんの口の中、白い歯たちが嬉しそうにキラキラと輝いていました。

ノリオさんのご自慢のお店。

美味しい料理にピカピカの調理道具。

そしてノリオさんの笑顔の中心で輝く、真っ白な歯!

おしまい。